

平成24年7月24日
国土交通省直轄事業における公共事業の
品質確保の促進に関する懇談会

資料2

企業評価のあり方の検討(案)



【検討課題】企業評価のあり方

1. 直轄事業の担い手として望ましい企業像(優良企業像)

- 優良企業像として考慮すべき観点及び具体的な評価指標

技術力／経営力／下請との適切な関係／技術力の維持・向上への取組／
災害対応力／地域精通度・貢献度／法令順守 等

例)全国企業:マネジメントの観点から、下請と適切な関係を構築している企業

地域企業:災害対応の観点から、機械を保有し、技術者を直接雇用している企業

2. 適正な競争環境の整備

- 適正な競争環境を実現するための観点及び方針

事業量を踏まえ、

行き過ぎた競争の是正／直轄工事の担い手確保／競争性の確保 等

3. 入札・契約制度

- 1、2を踏まえた入札・契約制度で実現する内容及び方針

実現内容)

優良企業に対するインセンティブ付与／行き過ぎた競争の是正／
担い手確保／民間の高度な技術力の活用 等

対応方針)

○2年に1度の競争参加資格審査、工事ごとの競争参加資格要件、及び総合評価の各段階における
企業評価に係る役割分担の検討

○工種区分、等級区分、発注方式のあり方及び組合せの検討

○海外で行われている多様な入札契約方式の導入検討 等

【参考】企業評価における役割分担

【論点】

1. 将来的にも担い手となる「優良な建設企業」とはどのような企業か。

○過去の工事実績や工事成績等、施工力の評価を重視

○工事実績等以外に考慮すべき要素は何か？

◆人を大切にする企業

<例>

- ・雇用の確保の状況
- ・下請企業の人材確保に対する配慮の状況など

◆災害時に対応能力のある企業

<例>

- ・建設機械の保有状況 など

2. 「優良」であることをどの段階で評価するのか。

- ◆資格審査段階・・・ランク分け
- ◆個々の工事の競争参加資格
- ◆総合評価(段階審査)

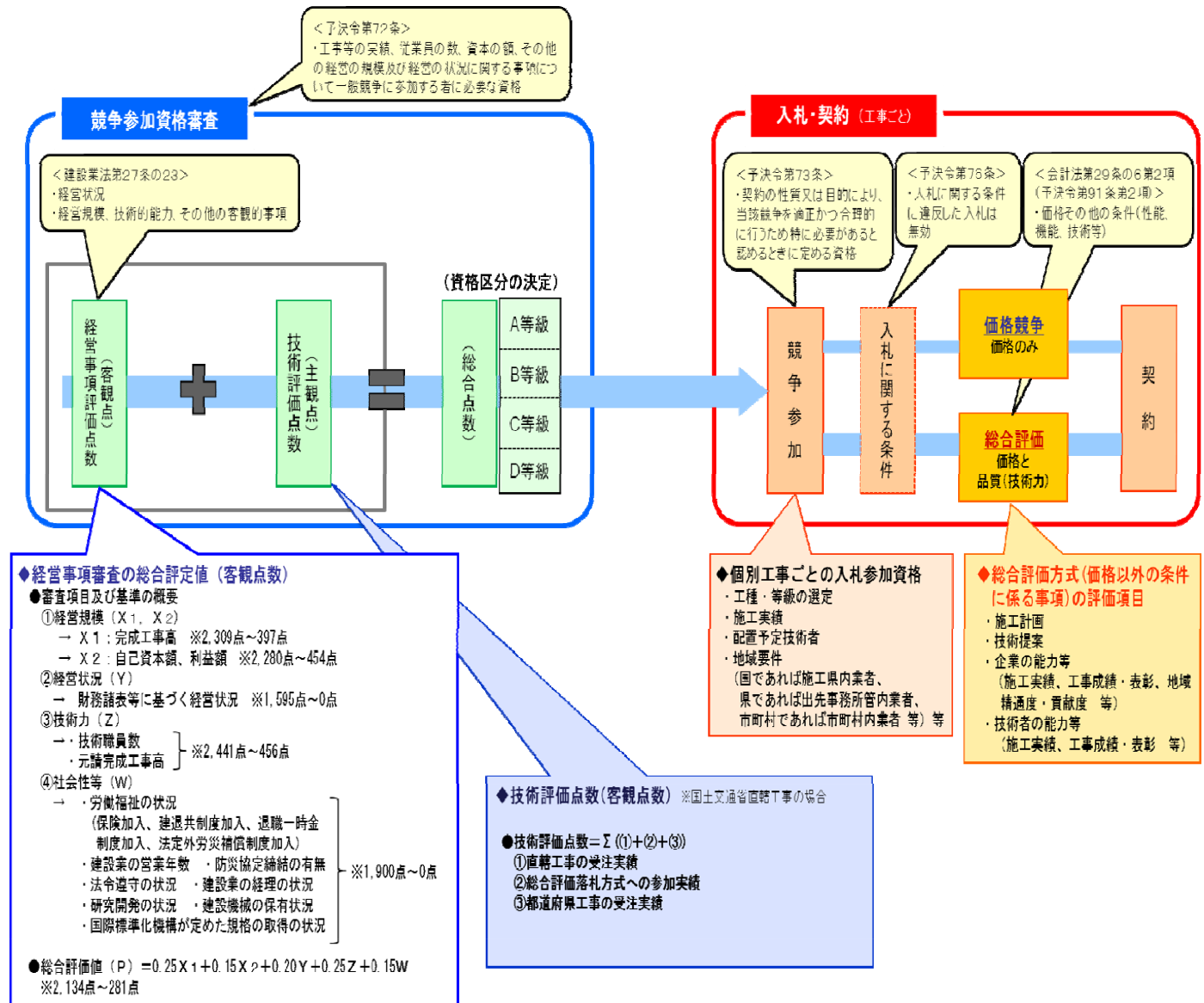
3. 「優良な企業」に対する適正な競争環境をどのように、また、どの段階(資格審査、工事ごとの参加資格、総合評価(段階選抜))で実現させるのか。

4. 成績評定・手続の透明性の確保。

5. 対象工事(工種)の選定の考え方。

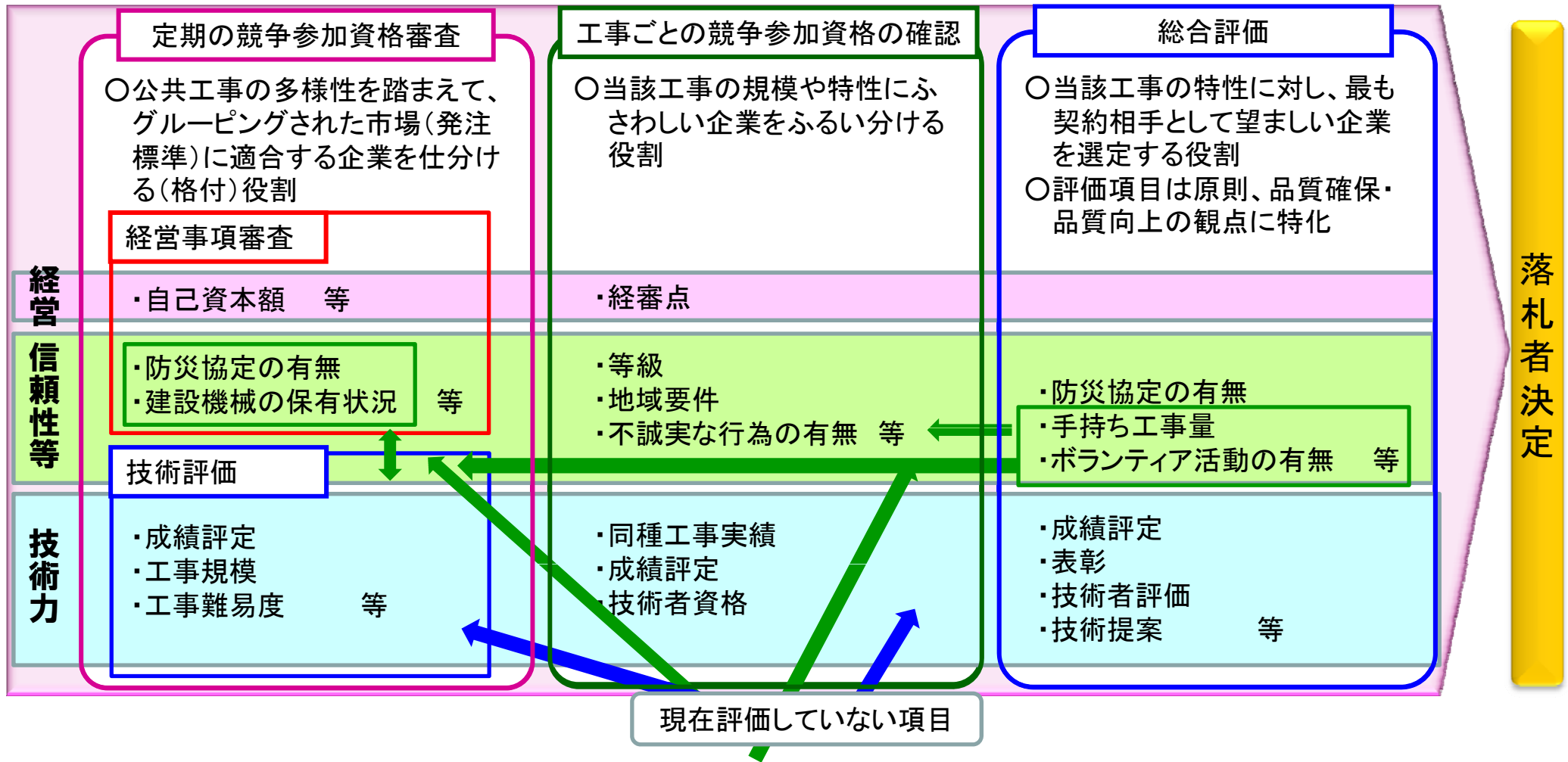
<例>

- ・難易度の高い工事、工期等の制約のある工事
- ・維持修繕工事 等



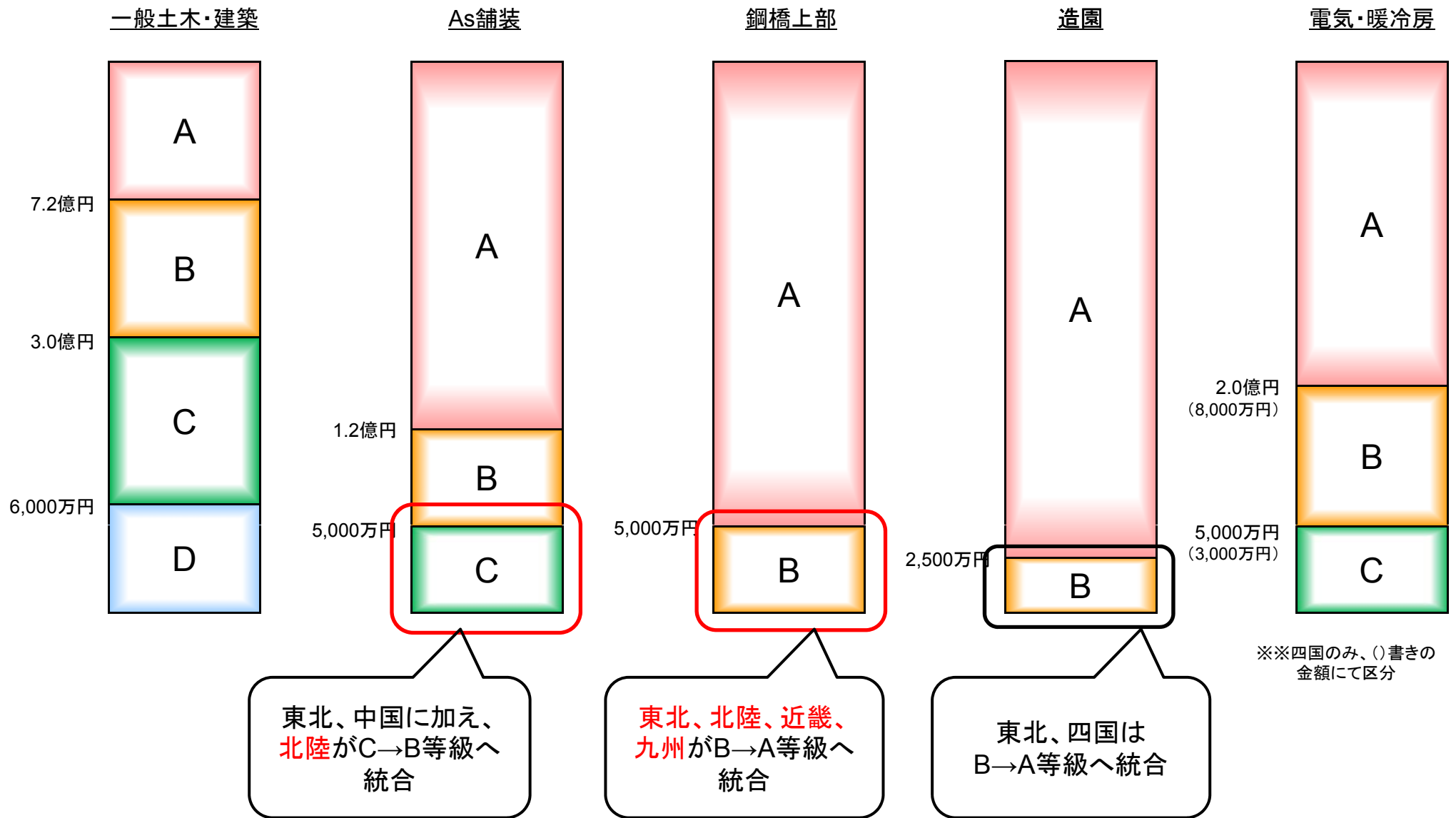
【参考】企業評価における役割分担

・企業評価は、2年に1度の競争参加資格審査、工事ごとの競争参加資格の確認及び総合評価の大きく3つのプロセスからなり、各プロセスの適切な役割分担の下、技術力と経営力に優れた企業を契約の相手方として選定することが重要



※総合評価方式の活用・改善等による品質確保に関する懇談会(平成24年2月28日)資料を加工

【参考】H23.24資格審査における等級区分の統合



出典:平成23・24年度国土交通省直轄工事(一般土木等21工種)の競争参加資格登録等に関する主な変更点等

【参考】米国陸軍工兵隊による災害対応と調達(ECI)

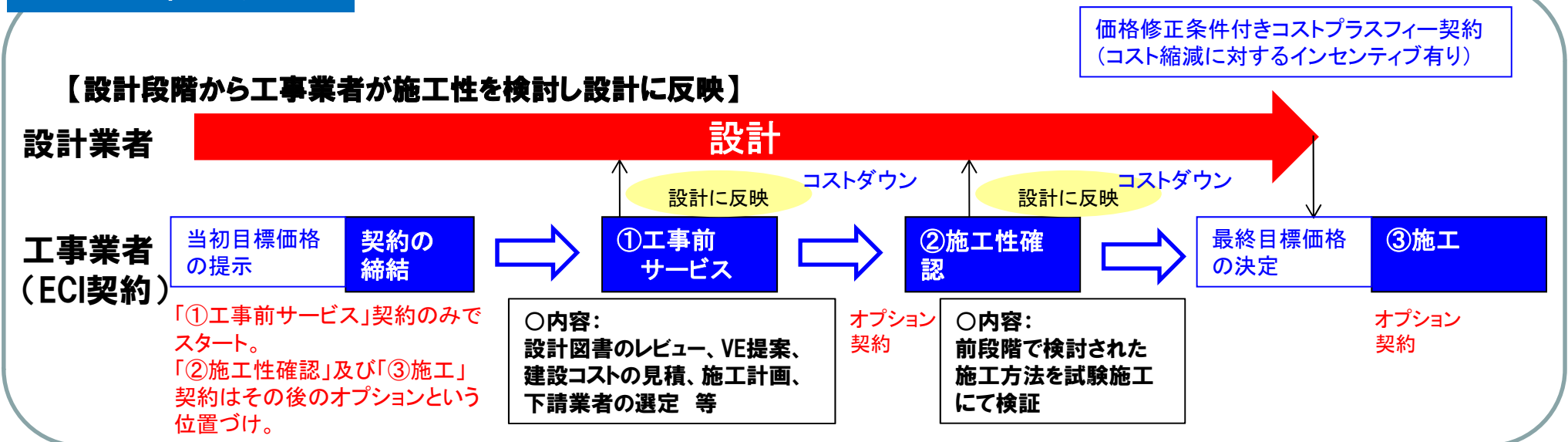
1. 背景

○ニューオリンズのハリケーン対策事業(災害発生・応急復旧時、本格復旧・復興段階)に関して、米国陸軍工兵隊(USACE:US Army Corps of Engineers)が、ECI(Early Contractor Involvement)を導入。

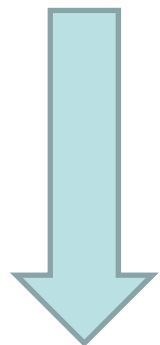
2. 内容

- ・設計段階から工業者が施工性を検討し、設計に反映して、工事期間を短縮する手法。
- ・設計段階から施工者が関与し、施工上の課題を設計にフィードバックすることで工事費用リスク軽減及びプロジェクト工期短縮が可能。
- ・早期の発注が可能で、発注時に詳細仕様の確定が困難な事業に適しているとされる。

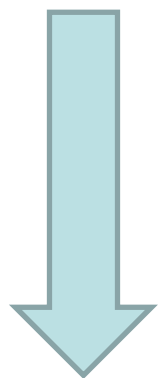
3. ECIのイメージ



第1回懇談会(本日)
○問題認識の共有



第2回懇談会(12月頃)
○中間とりまとめ



第3回懇談会(3月頃)
○とりまとめ

今後の検討内容

1. 優良企業像
 - 具体的な評価指標について検討
2. 適正な競争環境
 - 事業量に見合った適正な競争環境のあり方を検討
 - 事業内容に応じた企業評価のあり方を検討
3. 下請企業の適正な評価
 - 評価方法の検討
 - 下請の実情の把握(直轄工事における下請活用状況等)
4. 入札契約制度
 - 工種区分、等級区分の課題整理・対応策の検討
 - 技術提案評価型等の適用拡大の検討